

【今日の説教から】

「彼がなおもペテロとヨハネとにつきまとっているとき」。

美しの門にて癒しを受けた男性の心は神様の御業の取り次ぎ手であるペテロとヨハネにくぎ付けになっていました。

人々の好奇の眼差しに対してペテロは言いました。

「イスラエルの人たちよ、なぜこの事を不思議に思うのか。また、わたしたちが自分の力や信心で、あのを歩かせたかのように、なぜわたしたちを見つめているのか。」

私たちは美しの門にて、じっと男性を見つめて、「わたしにあるものをあげよう。ナザレ人イエス・キリストの名によって歩きなさい」と言ったペテロの大胆さに驚くのではないでしようか。そんなことを言ってもしも何も起こらなかったら恥をかくのではないかと…。しかしひペテロは「自分の持っているもの」を明確に知っていました。それは自分の力や信心ではなく、自分の業ではなくて、「イエスの名が、それを信じる信仰のゆえに、この人を強く」するのだという事でした。

「神はあらゆる預言者の口をとおして、キリストの受難を予告しておられたが、…このように成就なさったのである。…自分の罪をぬぐい去っていただるために、悔い改めて本心に立ちかえりなさい。」

イエス様の到来による救いは、長い昔から予告されていたことでした。それは私たちの罪がぬぐわれるため、そして私たちが心を入れ替えて向きを変えて出発できるためです。ここに素晴らしい知らせがあります。

皆様おはようございます。暑い暑い一週間でした。そして時折激しい夕立のようにスコールのように降る雨もありました。皆様ご無事にお元気にお過ごしでしたでしょうか。

今日もペテロの説教から信仰の言葉からその息吹を学び、その生き生きとした流れを注ぎ入れていただきたいと願います。

美しい門にて一人の男性が癒された出来事の続きの箇所です。

3:6 ペテロが言った、「金銀はわたしには無い。しかし、わたしにあるものをあげよう。ナザレ人イエス・キリストの名によって歩きなさい。」

3:7 こう言って彼の右手を取って起してやると、足と、くるぶしが、立ちどころに強くなって、

3:8 踊りあがって立ち、歩き出した。そして、歩き回ったり踊ったりして神をさんびしながら、彼らと共に宮にはいって行った。

3:9 民衆はみな、彼が歩き回り、また神をさんびしているのを見、

3:10 これが宮の「美しの門」のそばにすわって、施しをこうていた者であると知り、彼の身に起ったことについて、驚き怪しんだ。

3:11 彼がなおもペテロとヨハネとにつきまとっているとき、人々は皆ひどく驚いて、「ソロモンの廊」と呼ばれる柱廊にいた彼らのところに駆け集まってきた。

3:12 ペテロはこれを見て、人々にむかって言った、「イスラエルの人たちよ、なぜこの事を不思議に思うのか。また、わたしたちが自分の力や信心で、あの人を歩かせたかのように、なぜわたしたちを見つめているのか。

「彼がなおもペテロとヨハネとにつきまとっているとき」。

あの癒された男性は、ずっとペテロと一緒にいました。彼から離れたくないというように、彼にくぎ付けでした。

人々の好奇の眼差しに対してペテロは言いました。

「イスラエルの人たちよ、なぜこの事を不思議に思うのか。また、わたしたちが自分の力や信心で、あの人を歩かせたかのように、なぜわたしたちを見つめているのか。」

私たちは美しの門にて、じっと男性を見つめて、「金銀はわたしには無い。しかし、わたしにあるものをあげよう。ナザレ人イエス・キリストの名によって歩きなさい」。と言ったペテロの大胆さに驚くのではないでしようか。そんなことを言ってもしも何も起こらなかつたら恥をかくのではないかと…。しかしひペテロは「自分の持っているもの」を明確に知っていました。それは自分の力や信心ではなく、自分の業ではなくて、「イエスの名が、それを信じる信仰のゆえに、この人を強く」するのだという事でした。

私たちが、それは私たちも人助けをしたいのですが、私たちには、もちろん聖書に出てくる人のような偉大な働きが出来るはずがない。あの人たちと私とは全然人間のタイプが違うからと、そんな風に考えることはないでしようか。しかしひペテロもまた、金銀は私にはない、そして自分の力や信心で、あの人を歩かせることも出来ないと言っているのです。そんな彼は今日の私たちと同じです。いや、今日の私たちの方が彼よりも豊かで恵まれているかもしれません。しかし彼は明確に、彼自身が持っているものを知っていました。そして彼はそれに賭けていました。それが彼の持っている「ナザレ人のイエスの名」でした。

ナザレ人のイエスの名…小さな村ナザレのイエスと呼ばれるお方。この呼び名からは、イエス様がいかに謙遜に、ご自分の道を歩きとおされたのかを物語っています。

ピリピ

2:1 そこで、あなたがたに、キリストによる勧め、愛の励まし、御靈の交わり、熱愛とあわれみとが、いくらかでもあるなら、

2:2 どうか同じ思いとなり、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、一つ思いになって、わたしの喜びを満たしてほしい。

2:3 何事も党派心や虚栄からするのではなく、へりくだった心をもって互に人を自分よりすぐれた者としなさい。

2:4 おのれの、自分のことばかりでなく、他人のことも考えなさい。

2:5 キリスト・イエスにあっていだいているのと同じ思いを、あなたがたの間でも互に生かしなさい。

2:6 キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、

2:7 かえって、おのれをむなしうして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、

2:8 おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。

2:9 それゆえに、神は彼を高く引き上げ、すべての名にまさる名を彼に賜わった。

2:10 それは、イエスの御名によって、天上のもの、地上のもの、地下のものなど、あらゆるものがひざをかがめ、

2:11 また、あらゆる舌が、「イエス・キリストは主である」と告白して、栄光を父なる神に帰するためである。

2:12 わたしの愛する者たちよ。そういうわけだから、あなたがたがいつも従順であったように、わたしが一緒にいる時だけでなく、いない今は、いっそう従順でいて、恐れおののいて自分の救の達成に努めなさい。

2:13 あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされるところだからである。

ピリピ書には「喜びなさい」と繰り返し記されていますが、そのように謙遜で、私たちに仕え救ってくださるイエス様のことを思うとき、私たちはどんな状況においても喜んでいることが出来るのですね。私たちもまた、そういうイエス様の御名をいただき、仕え、教え、助け、導き救ってくださるイエス様と共に生きることを得させていただいているとき、力が湧いてきて、喜びが湧きあがって来る思いがいたします。

3:12 ペテロはこれを見て、人々にむかって言った、「イスラエルの人たちよ、なぜこの事を不思議に思うのか。また、わたしたちが自分の力や信心で、あの人を歩かせたかのように、なぜわたしたちを見つめているのか。

不思議なことはないのです。私たちのために贖い代として命を捧げて死なれ、復活なさったイエス様を信じるなら、私たちにとって不思議なことはないのです。イエス様が十字架にか

かつて私たちのために死なれ、私たちに赦しを与える、神の子として聖靈を賜物として与えてくださるのなら、そして神様が私たちと共におられて御業を成してくださるのなら、私たちにとっては全てが必然で驚くべきことではないことが分かります。

ローマ 8:29 神はあらかじめ知っておられる者たちを、更に御子のかたちに似たものとしようとして、あらかじめ定めて下さった。それは、御子を多くの兄弟の中で長子とならせるためであった。

8:30 そして、あらかじめ定めた者たちを更に召し、召した者たちを更に義とし、義とした者たちには、更に栄光を与えて下さったのである。

8:31 それでは、これらの事について、なんと言おうか。もし、神がわたしたちの味方であるなら、だれがわたしたちに敵し得ようか。

8:32 ご自身の御子をさえ惜しまないで、わたしたちすべての者のために死に渡されたかたが、どうして、御子のみならず万物をも賜わらないことがあろうか。

「イスラエルの人たちよ、なぜこの事を不思議に思うのか。また、わたしたちが自分の力や信心で、あの歩かせたかのように、なぜわたしたちを見つめているのか。」

ですから私たちは自分の力や信仰深さなどという尺度を恐れる必要はないのです。それらにかけているから何もできないなどとため息をつく必要はないのです。ことは神様と、遣わされたイエス様にかかっているのです。

3:13 アブラハム、イサク、ヤコブの神、わたしたちの先祖の神は、その僕イエスに栄光を賜わったのであるが、あなたがたは、このイエスを引き渡し、ピラトがゆるすことに決めていたのに、それを彼の面前で拒んだ。

3:14 あなたがたは、この聖なる正しいかたを拒んで、人殺しの男をゆるすように要求し、

3:15 いのちの君を殺してしまった。しかし、神はこのイエスを死人の中から、よみがえらせた。わたしたちは、その事の証人である。

あなた方はあの極悪人である人殺しのバラバを釈放せよとピラトに願ってイエス様を十字架につけたが、そのあなたたちこそが人殺しだ、罪もない人を十字架につけた人殺しがあなたなのではないかと鋭く胸に迫るような言葉がここにはあります。私たちはそのことの証人だ、私たちはその不条理を、罪深さをつぶさに、克明に一つ一つ見てきたとペテロは語ります。

3:16 そして、イエスの名が、それを信じる信仰のゆえに、あなたがたのいま見て知っているこの人を、強くしたのであり、イエスによる信仰が、彼をあなたがた一同の前で、このとおり完全にいやしたのである。

あなた方が見捨てたそのイエス様の御名が、それを信じる信仰のゆえに、深く信じるペテロの信仰と、その語られた御名を信じて立ち上がった見ようと、イエス様の御名を聞いて応答しようとしたあの美しの門に座っていた男性の信仰の思いのゆえに、彼を完全にいやすこの出来事が起こったのであるとペテロは語りました。

ヘブル 7:24 しかし彼は、永遠にいますかたであるので、変らない祭司の務を持ちつづけておられるのである。

7:25 そこでまた、彼は、いつも生きていて彼らのためにとりなしておられるので、彼によって神に来る人々を、いつも救うことができるのである。

3:17 さて、兄弟たちよ、あなたがたは知らずにあのような事をしたのであり、あなたがたの指導者たちとても同様であったことは　わたしにわかっている。

3:18 神はあらゆる預言者の口をとおして、キリストの受難を予告しておられたが、それをこのように成就なさったのである。

3:19 だから、自分の罪をぬぐい去っていただくために、悔い改めて本心に立ちかえりなさい。

3:20 それは、主のみ前から慰めの時がきて、あなたがたのためにあらかじめ定めてあったキリストなるイエスを、神がつかわして下さるためである。

マタイ 5:20 わたしは言っておく。あなたがたの義が律法学者やパリサイ人の義にまさっていなければ、決して天国に、はいることはできない。

5:21 昔の人々に『殺すな。殺す者は裁判を受けねばならない』と言っていたことは、あなたがたの聞いているところである。

5:22 しかし、わたしはあなたがたに言う。兄弟に対して怒る者は、だれでも裁判を受けねばならない。兄弟にむかって愚か者と言う者は、議会に引きわたされるであろう。また、ばか者と言う者は、地獄の火に投げ込まれるであろう。

罪のない人を死に追いやる殺人者である人間が、そうと知らずにも犯し続ける罪の現実の中で、「知らずのうちに」無意識にさえ罪を犯す私たちのために神様はその罪をぬぐうため

にイエス様を遣わしてくださいました。悔い改めて本心に変える。罪を悔い改めて、心の革新をもって方向転換をして、命溢れる幸福の道、祝福の道へと私たちは向かうことが出来るのです。

3:20 それは、主のみ前から慰めの時がきて、あなたがたのためにあらかじめ定めてあったキリストなるイエスを、神がつかわして下さるためである。

この慰めを、この新しい生き方を、私たちも感謝と喜びと共にお伝えしていきたいと願います。

◇祈祷；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。「イスラエルの人たち、なぜこのことに驚くのですか。また、わたしたちがまるで自分の力や信心によって、この人を歩かせたかのように、なぜ、わたしたちを見つめるのですか。」と語ったペテロは本当に主イエス様のお力に頼りすがっていたことを教えられ、感謝いたします。「あなたがたの見て知っているこの人を、イエスの名が強くしました。それは、その名を信じる信仰によるものです。イエスによる信仰が、あなたがた一同の前でこの人を完全にいやしたのです。」との御言葉にも感謝いたします。どうぞあらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。私たちをお用い下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン